

# AutoCAD & AutoCAD LT

## **Customizing**

for AutoCAD 2008 & AutoCAD LT 1008

## メニュー カスタマイズ 「CUI」

オリジナルメニューを追加することで作業効率をUPする。  
ツールバーやツールパレット、右クリックショートカットなどを使いやすいように編集する。

### 1. 新規コマンドの作成

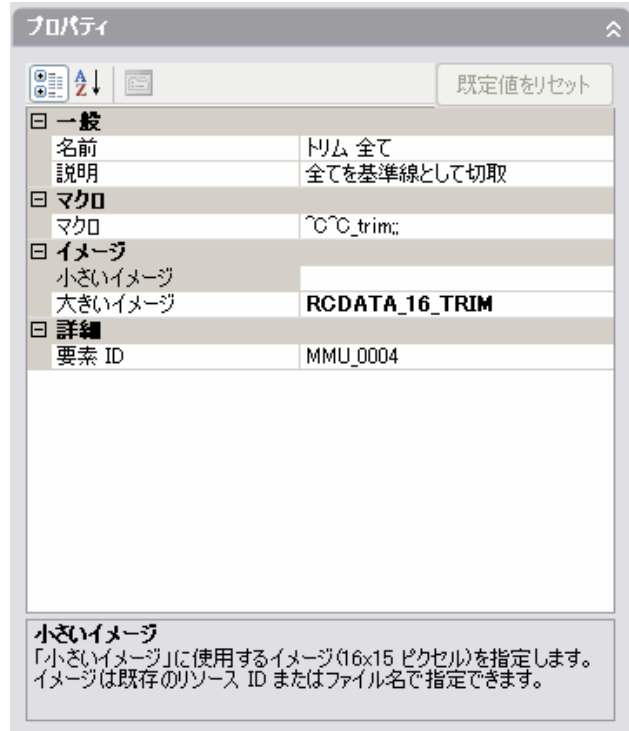
コマンド : CUI ◀

「コマンド一覧」から  
「新しいコマンドを作成」

右側のパネル「プロパティ」を編集

名前 : トリム 全て  
説明 : 全てを基準線として切取  
マクロ : **^C^C\_TRIM;;**  
ボタンイメージからトリムを選択

「OK」



名前 : 延長 全て  
説明 : 全てを基準線として延長  
マクロ : **^C^C\_EXTEND;;**  
ボタンイメージから延長を選択

名前 : オフセット 連続  
説明 : 連続してオフセット  
マクロ : **^C^C\_OFFSET;#M;**  
ボタンイメージからオフセットを選択

名前 : マルチテキスト 1点  
説明 : 1点指示して文字記入  
マクロ : **^C^C\_MTEXT;#W;0;**  
ボタンイメージからマルチテキストを選択

名前 : 文字高さ  
説明 : 文字高さ設定  
マクロ : **^C^C\_TEXTSIZE**  
ボタンイメージから Dtext を選択 「編集」  
イメージを編集 or 作成して 「名前を付けて保存」  
プロパティの小さいイメージから 保存したファイルを選択

### メニュー - 編集

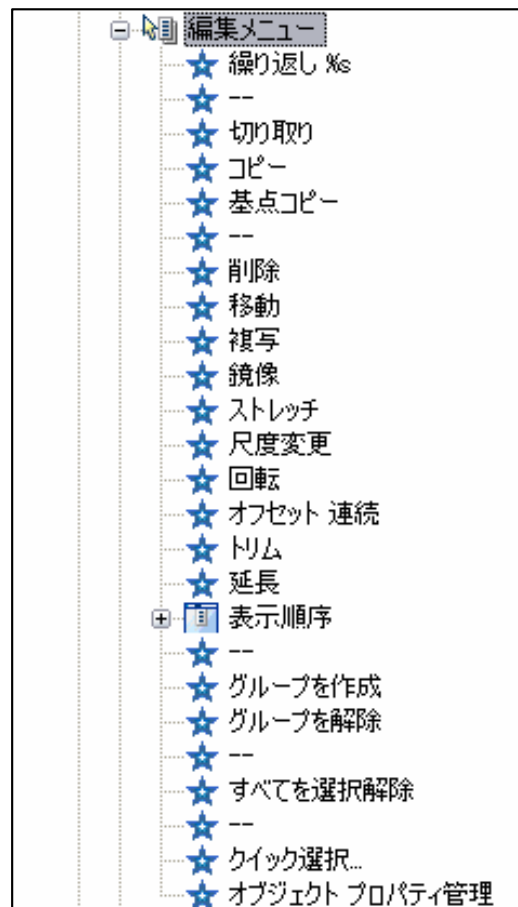
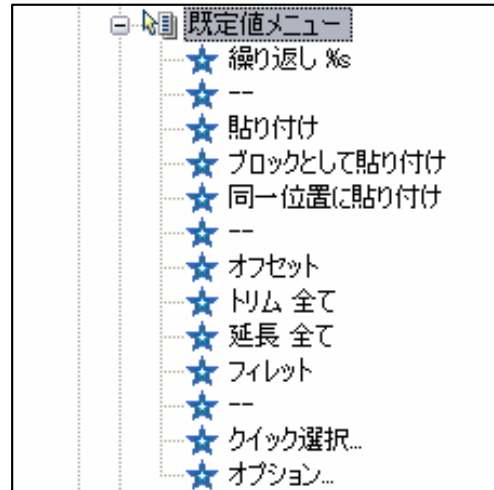
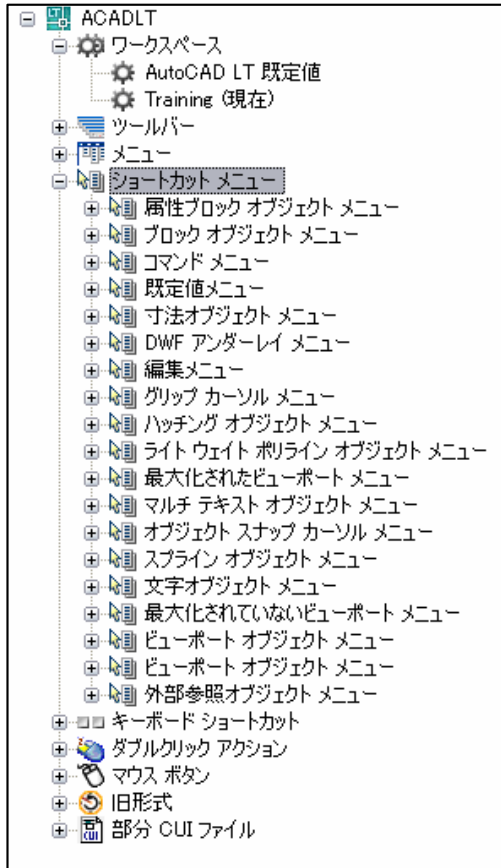
既存のメニューを編集  
フィレット、面取りのマクロの先頭に  
「\*」を追加 繰返し実行できる

マクロ:  
フィレット : **\*^C^C\_FILLET**  
面取り : **\*^C^C\_CHAMFER**



## 2. 右クリックショートカットの編集

様々な環境下での右クリックショートカットを編集することで作業効率をUP！



コマンド : CUI ◀

「ショートカット メニュー - 」から  
「規定値メニュー」  
「編集メニュー」をカスタマイズ

「コマンド一覧」から必要なコマンド  
をドラッグ！

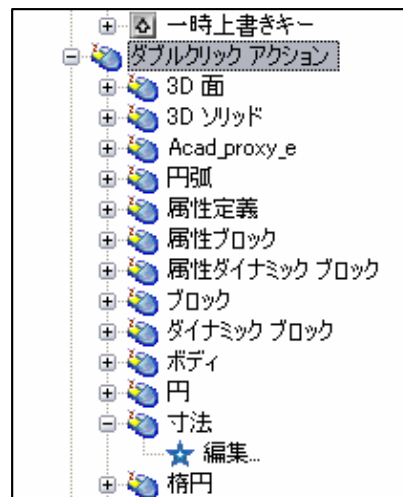
要らないものは右クリックで削除



右のメニューを参考に編集！

ダブルクリック アクションは  
(ダブルクリック時のコマンド)  
「寸法」に文字編集をドラッグ

「OK」



### 3. ダッシュボードのカスタマイズ

**ダッシュボードの表示変更** 「画層」の下に「オブジェクトプロパティ管理」を追加

コマンド : CUI ◀

「すべてのCUIファイル内のカスタマイズ」内の現在のワークスペースを選択

パネル右側「ワークスペースの内容」 「ワークスペースをカスタマイズ」をクリック

パネル左側「すべてのCUIファイル内のカスタマイズ」内から  
ダッシュボードパネルの「オブジェクトプロパティ管理」をチェック

パネル右側「ワークスペースの内容」  
「オブジェクトプロパティ管理」をドラッグして「画層」の下へ移動

「完了」をクリックし「OK」



#### パネルを新規作成

文字記入を複製し、カスタマイズしたコマンドを追加

コマンド : CUI ◀

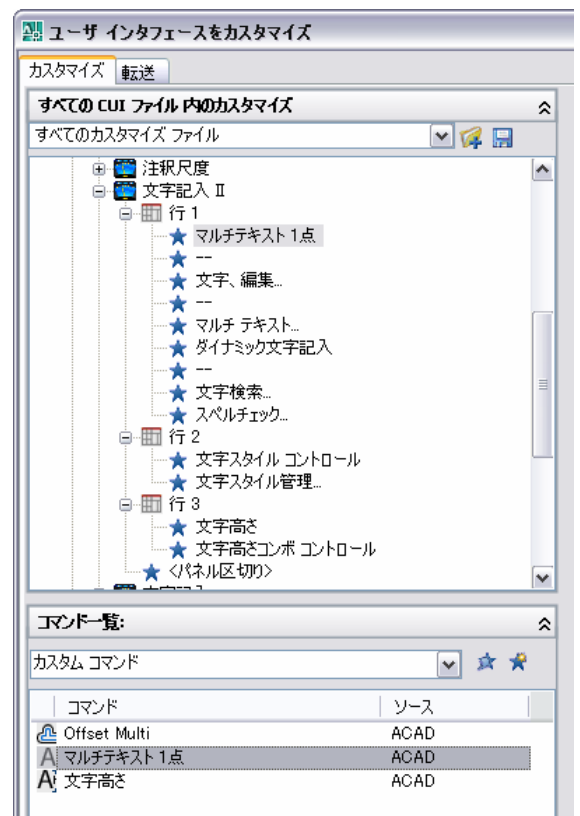
「すべてのCUIファイル内のカスタマイズ」内の  
「文字記入」を選択し右クリック 「複製」

複製したパネルをクリックし  
名前を変更「文字記入 II」とする  
「-」をクリックし展開

「コマンド一覧」から「カスタムコマンド」を選択  
「マルチテキスト 1点」をパネルヘッダにドラッグ

文字高さコンボコントロールの前に  
「文字高さ」をドラッグ

上記「ダッシュボードの表示変更」を参考に  
「文字記入」から「文字記入 II」にパネル表示を  
変更する。

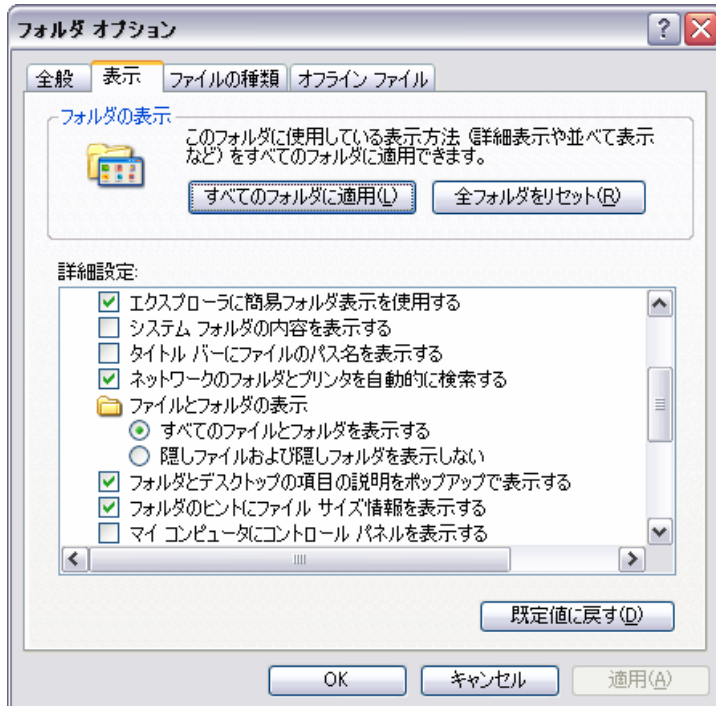


## メニューCUI ファイルの位置

カスタマイズしたメニューファイルは「acad.cui」に保存されています。

エクスプローラーで全てのフォルダとファイルが表示されていることを確認してください。  
エクスプローラー メニュー「ツール」-「フォルダオプション」「表示」タブ

### 「すべてのフォルダとファイルが表示する」



### 保存場所：

C:\Documents and Settings

¥ログインユーザー名¥Application Data

¥Autodesk¥AutoCAD 2008¥R17.1¥jpn¥Support

Supportフォルダの下位「Icons」フォルダには  
カスタムしたメニューアイコンも保存されています。

## ツールパレット カスタマイズ

Ver2004から登場したツールパレット (Ctrl + 3)

ハッチングとブロック図形のための登録だったが  
Ver2005からコマンドも登録でき使いやすくなった。

アイコンのプロパティは  
(アイコンで右クリック - プロパティ)  
レイヤー指定などができ  
レイヤー変更しなくてもカッテに変わる。  
(図面上の図形をパレットへドラッグすれば登録できる)

ブロック図形では図面尺度に応じて  
配置する時の尺度が変更できる  
(尺度は寸法尺度と印刷尺度から参照。)

### ツールバーからの移行のしかた

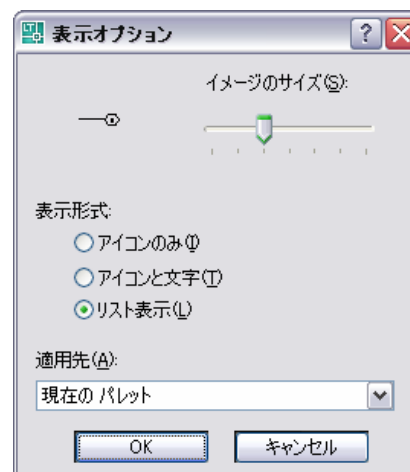
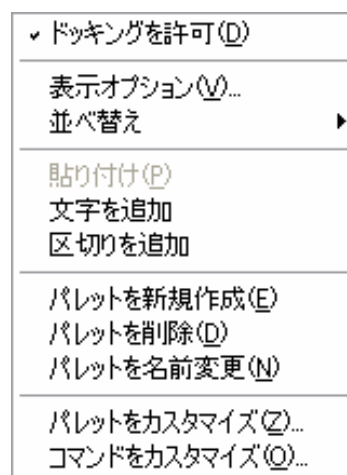
パレット上で右クリック - 「カスタマイズ」を選択

カスタマイズ画面を表示したままの状態  
各ツールバーからボタンをドラッグすれば作成完了!  
(フライアウトの表示を変更するには  
作成後 プロパティ から「フライアウトを使用」を「いいえ」に変更)

### 同じアイコンを複数作成

(レイヤー変更のみなど) したい時は  
パレットのアイコンを右クリックでコピー - ペーストすればOK  
(「Ctrl」を押したままドラッグも可)

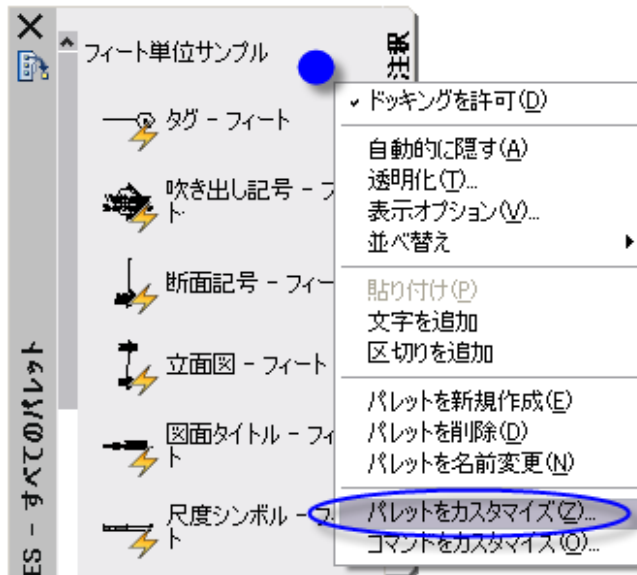
Ver2007以降ではパレットからCUIへドラッグできる。



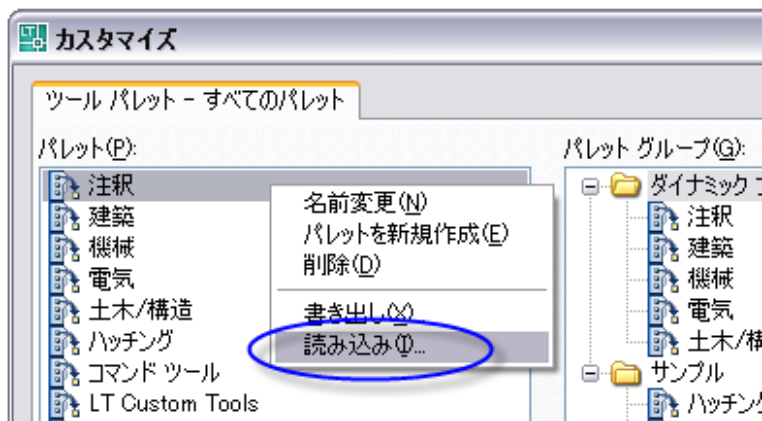
## ツールパレット 読み込みと書出し

2Dツールをまとめたサンプルです。

- 1、「ツール」 - 「パレット」 - 「ツールパレット」  
表示されたツールパレット上で右クリック  
「パレットをカスタマイズ」



- 2、「パレット」内で右クリック「読み込み」  
「2D Work.xtp」ファイルを選択し開く



「閉じる」で完成！

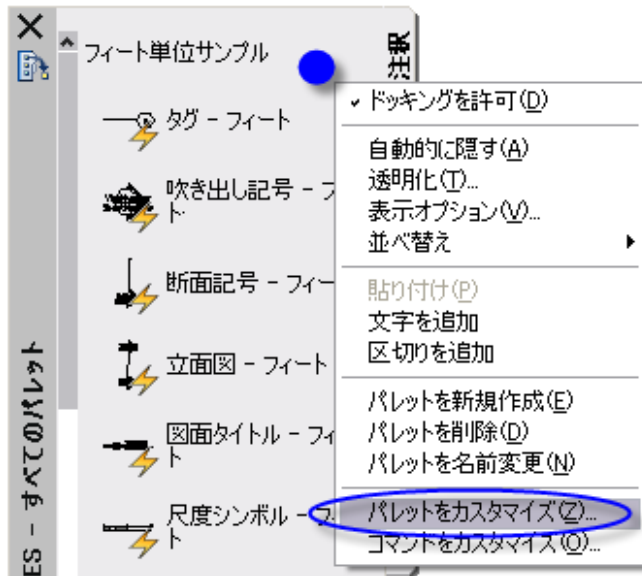
## XTPファイルの書出し

作成したパレットを他のPCに移植、ユーザーに配布する。  
.XTPファイルとパレットで利用しているイメージデータが  
XTPファイルと同名のフォルダで書出される。

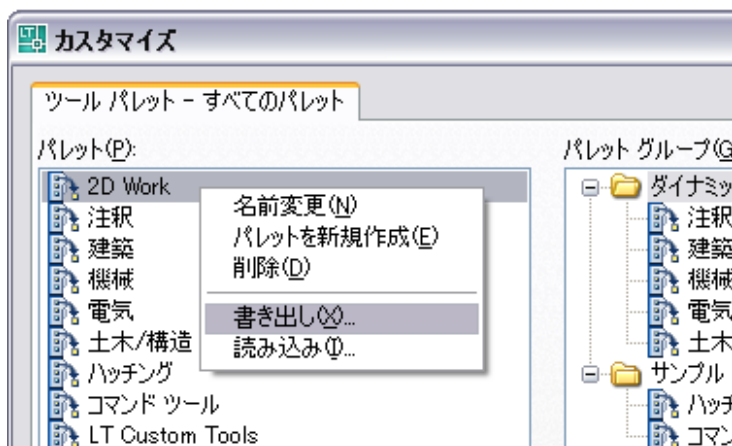
これを配布し、読み込み作業を行う。  
読込んだ後はこのファイルとフォルダは必要なくなり  
パレットの内容はユーザーのパレットパス内に保存される。

### 作業手順

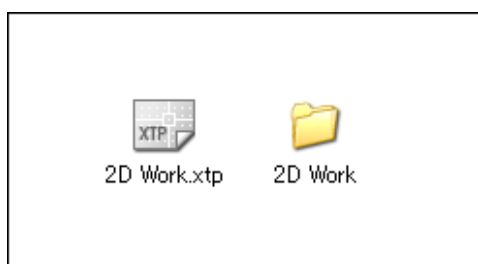
- 1、「ツール」 - 「パレット」 - 「ツールパレット」  
表示されたツールパレット上で右クリック「パレットをカスタマイズ」



- 2、書出すパレットを選択し右クリック「書き出し」



- 3、書出すフォルダを選択し「保存」



## メニュー マクロ構文

文字	説明
;	キャリッジ リターンを発行します。
^M	キャリッジ リターンを発行します。
^I	TAB を発行します。
[Spacerbar]	[Spacerbar]を押すのと等価な空白スペースをメニュー項目に入力します。
¥	ユーザ入力が可能ないように一時停止します。
_	AutoCAD LT コマンドとキーワードを、本来のコマンドとキーワードに変換します。
+	メニュー マクロを次の行へ継続させます(最後の文字の場合)。
=*	現在のイメージ タイル、カーソル、プルダウン メニューを表示します。
*	後に続くマクロを繰り返します。
\$	メニュー セクションをロードしたり、条件付き DIESEL マクロ式(\$M=)を導入するための特殊文字コードを示します。
^B	スナップ モードのオン/オフを切り替えます([Ctrl]+[B])。
^C	現在のコマンドをキャンセルします。
^D	座標表示のオン/オフを切り替えます([Ctrl]+[D])。
^E	次の等角面を設定します([Ctrl]+[E])。
^G	グリッド モードのオン/オフを切り替えます([Ctrl]+[G])。
^H	バックスペース([BackSpace])を発行します。
^O	直交モードのオン/オフを切り替えるか([Ctrl]+[O])、または既存の図面を開きます。
^P	現在の図面を印刷します。
^Q	すべてのプロンプト、ステータスの一覧をエコー表示してプリンタに入力します([Ctrl]+[Q])。
^T	タブレットのオン/オフを切り替えます([Ctrl]+[T])。
^V	別のビューポートを現在のビューポートにするか([Ctrl]+[V])、またはクリップボードからデータを貼り付けます。
^Z	null 文字を示します。メニュー項目の終わりに対する[Spacerbar]の自動追加を抑止します。

§ マクロの中でシステム変数を得る

$\$M=\$(GETVAR,システム変数)$

『SETENV & GETENV』

SETENV;変数名;¥ ¥の時に値を入力します

この値を得る時は  $\$M=\$(GETENV,変数名)$

関数一覧 詳細はHelp参照

+ (加算)  
- (減算)  
\* (乗算)  
/ (除算)  
= (に等しい)  
< (より小さい)  
> (より大きい)  
!= (に等しくない)  
<= (より小さいか等しい)  
>= (より大きい等しい)

and  
angtos  
edtime  
eq  
eval  
fix  
getenv  
getvar  
if  
index

nth  
or  
rtos  
strlen  
substr  
upper  
xor



## 線種に文字を含める

### 文字記述子形式

["文字",文字スタイル名,尺度,回転,X オフセット,Y オフセット]

#### 文字

線種で使用する文字です。

#### 文字スタイル名

使用する文字スタイルの名前

文字スタイルを指定しなかった場合は、現在定義されているスタイルが使用されます。

#### 尺度

文字スタイルに使用する、線種尺度との相対尺度です。文字スタイルの高さは、この尺度の倍数になります。文字スタイルの高さが 0 の場合は、この値が高さになります。

#### 回転

R= は、文字の回転角度。

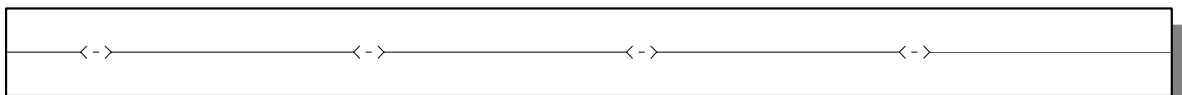
A= は、原点に対する文字の絶対的な回転角度を指定します。

#### X オフセット

線種の X 軸に沿った文字の移動距離を指定します。

#### Y オフセット

線種の Y 軸に沿った文字の移動距離を指定します。



上の図の線種を作成

手順

- 1、Windows「メモ帳」を起動します。

AutoCADのSupportフォルダ内の「acadiso.lin」を開き最終行へ移動します。

- 2、「\*」を先頭に付け「パターン名」,「説明」を記入し⏎
- 3、「A ,」を先頭に付け「 , 」区切りで下記を入力し⏎

\*Gyosei-line,行政界

A,40,["<","STANDARD,S=2,Y=-1],-2,1,-1,[">","STANDARD,S=2,Y=-1],-1

「ファイル」 - 「上書き保存」として保存します。

## ハッチングのカスタマイズ

オリジナルのハッチングパターンを作成するには、Windowsのメモ帳などのテキストエディタを利用します。作成するパターン名とファイル名(\*.PAT)を同じ名前にする必要があります。ファイルを保存する場所にはパスを通しておく必要があります。

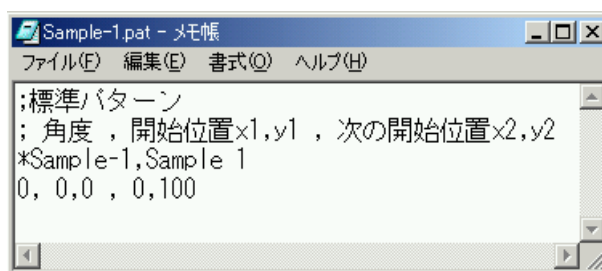
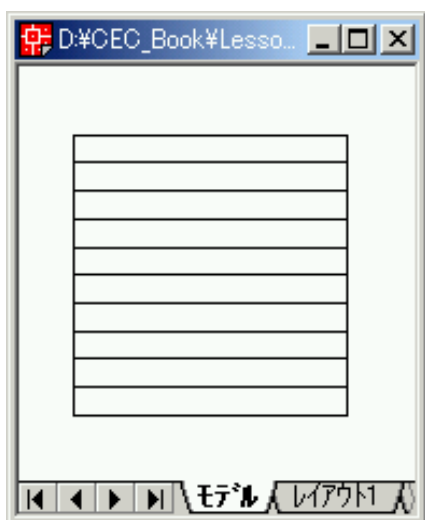
「ツール」-「オプション」「ファイル」タブ

「サポートファイルの検索パス」「追加」「参照」フォルダを指定します。

右の図のような間隔100のハッチングを作成

手順

- 1、Windows「メモ帳」を起動します。
- 2、「\*」を先頭に付け「パターン名」、「説明」を記入し↵
- 3、角度、開始位置 x,y、次の開始位置 x,y を「,」区切りで入力  
0, 0,0, 0,100 ↵
- 4、「ファイル」-「名前を付けて保存」  
ファイルの種類を「すべてのファイル」とし  
保存先のフォルダに「Sample-1.pat」として保存します。



One point!

関連システム変数

HPANG : ハッチングの角度

HPSCALE : ハッチングのスケール

作成するにはDesignCenterからファイルを選択しパターンをドラッグすることで作成できます。

角度や間隔、また行数を増やすことで色々なパターンが作成できます。

例

<pre>*conk,RC1 45, 0,0, 0,2000 45, 70,0, 0,2000 45, 140,0, 0,2000</pre>	<pre>*conk2,RC2 45, 0,0, 0,1800 45, 75,0, 0,1800 45, 150,0, 0,1800</pre>
---	--

この他、破線パターンの作成、開始位置のオフセットなどができます。

下記のパターンやacadiso.patなどを参考にオリジナルのハッチングを作成してみましょう

<pre>;破線パターン ;角度, 開始位置, 次の開始位置, 表示長さ,非表示長さ *Sample-0,Sample 0 0, 0,0 , 0,20 , 25,-10  ;指定した角度を0度(ベクトル)と考え ;次の開始位置を決める(負の値でも可) *Sample-2,Sample 2 90, 0,0, 0,125, 80,-80  ;次の開始位置のオフセット *Sample-3,Sample 3 90, 0,0, 80,125, 80,-80  *Tile 250x80,Tile 250x80 0, 0, 0, 0,80 90, 0,0, 80,125, 80,-80</pre>
---